



ファームウェアバージョン :	4.7.4.2B101C
ハードウェアバージョン :	A1、A2
発行日 :	2020/8/13

本リリースノートには、ファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用の製品に対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい製品にインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の製品がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて	3
アップグレード手順 :	4
Web GUI を使用するアップグレード	4
追加機能 :	6
修正した問題点 :	6
コマンドラインインタフェースの変更点 :	7
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム： 4.7.4.2B101C	2020/8/13	DWC-2000	A1、A2

注意事項：

- GNU/Linux Bash Shell の脆弱性について(CVE-2014-6271)
DWC-2000 は、GNU/Linux Bash Shell に対する脆弱性はありません。CLI および Web インタフェース経由で Shell インタフェースを使用することがないためです。
- SRTP メモリリークについて(CVE-2014-3513)
DWC-2000 は、SRTP メモリリークに対する脆弱性はありません。OpenSSL 1.0.x バージョンの SRTP をサポートしていないためです。
- “no-ssl3”オプションによるビルドの脆弱性について
DWC-2000 は、“no-ssl3”オプションによるビルドに対する脆弱性はありません。現在のコードベースでは、“no-ssl3”オプションによるビルドを設定しないためです。
- DWC-2000/A2 (H/W version A2) では、v4.6.0.2 よりも前のバージョンにダウングレードして使用することはできません。
- 「4.7.4.2B101C」から「v4.7.2.1B106C またはそれ以前のバージョン」へファームウェアをダウングレードした場合、設定は引き継がれません。(初期化されるか、古いバージョンで保存していた設定に戻ります。) IP アドレスも初期値 (192.168.10.1) に戻ります。ダウングレード後、再設定する必要があります。
- コンフィグファイルは取得時のバージョンより古いバージョンの機器にリストアすることはできません。

USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて

本製品は USB ドライブへコンフィグを自動的にバックアップ/リストアすることができます。
以下はバックアップ/リストアについての情報です。

1. USB ドライブが挿入されるとすぐに、コンフィグは自動的に USB ドライブへ保存されます。
ファイル名は“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”になります。(※USB ドライブ内にすでにバックアップされたコンフィグファイルが存在しない場合のみ)
2. 本製品のシステム LED が橙色に 3 回点滅した場合は、バックアップが開始されています。
3. Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグを保存することができます。ただし、すでに USB ドライブ内に保存されているコンフィグファイルと、新しく保存するコンフィグのモデル名とシリアルナンバーが一致する必要があります。
4. リブートを行った場合、本製品はコンフィグファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）の有無をチェックします。コンフィグファイルが存在した場合は、そのファイルがリストアされます。
2 つの USB ドライブにコンフィグファイルが存在した場合、1 つ目の USB ドライブにあるファイルがリストアされます。
5. USB ドライブに保存できるのは、各モデル名につき 1 つのコンフィグのみです。（フォーマットは、“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”です）
6. 工場出荷時状態の本製品に USB ドライブを挿入しリブートを行った場合は、USB ドライブにコンフィグは保存されません。本製品に設定を変更したコンフィグファイルが存在しないためです。Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグが保存されるようになります。

アップグレード手順：

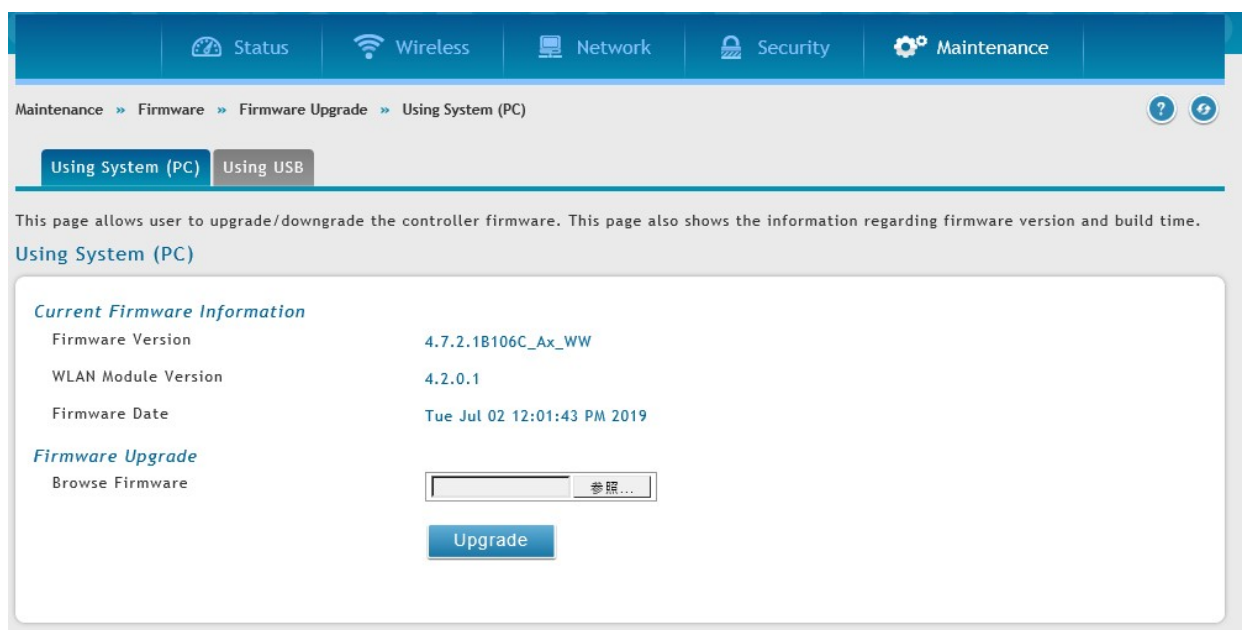
Web GUI を使用するアップグレード

1. Web GUI にログインします。

IP アドレス、サブネットマスク、ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。

- IP アドレス：192.168.10.1
- サブネットマスク：255.255.255.0
- ユーザ名: admin
- パスワード: admin

2. **Maintenance > Firmware > Firmware Upgrade > Using System(PC)**の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



3. 「Firmware Upgrade」の「参照」をクリックします。

4. ファームウェアを選択後、「Upgrade」をクリックします。

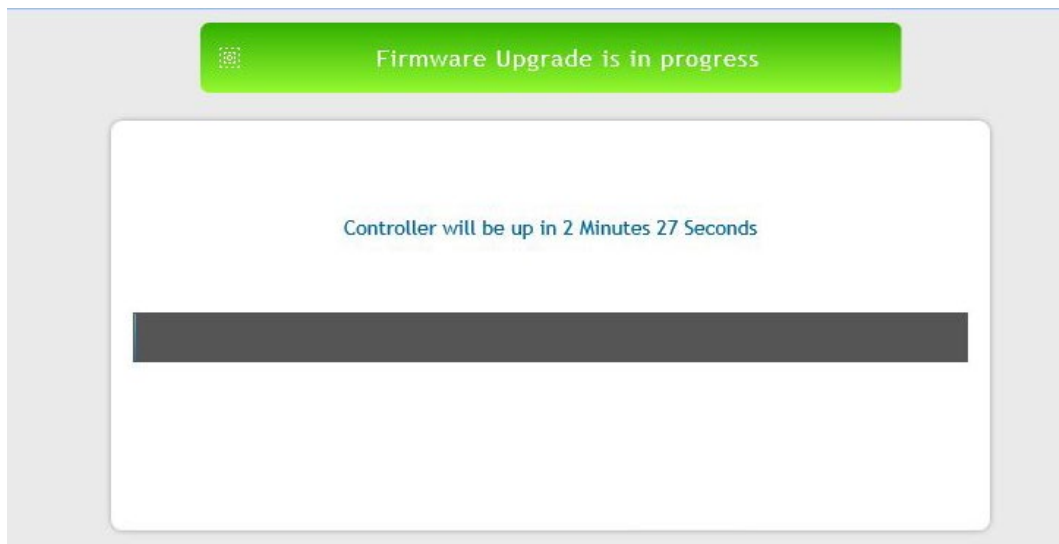
5. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

6. 進行状況を表す画面が表示されます。

注意：

ファームウェアのアップグレードには数分かかります。

アップグレード中は、電源を切ったり Web ブラウザを閉じたりせず、そのままお待ちください。



7. ログイン画面が表示されるので、再度 Web GUI にログインします。

8. 画面右上部の「Firmware Version:」でファームウェアバージョンを確認します。

※ログイン後にセットアップウィザードが表示される場合、ウィザードを中断して後から設定を行うことも可能です。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B101C	<ol style="list-style-type: none"> DWL-X8630AP をサポート致しました。 default の SLA プロファイルについて、「Terms of Service Rule」に SLA ステートメントを追加致しました。 キャプティブポータルの「Permanent User」が SLA を選択できるように致しました。 キャプティブポータルグループのユーザ数を 500 に変更致しました。 1 つのビリングプロファイルで生成できるユーザ数を 1024 に変更致しました。 アクセスポイントのグルーピングに対応致しました。 Captive Portal Session List 画面において、期限切れのユーザを削除できるように致しました。 Web GUI のセットアップウィザードの表示を改善致しました。 MAC 認証データベースを以下の通り改善致しました。 <ul style="list-style-type: none"> MAC 認証データベースのグルーピングを可能に致しました。 MAC Authentication Configuration 画面において、MAC アドレスを「XX:XX:XX:XX:XX:??」と入力した場合に「XX:XX:XX:XX:XX:00」から「XX:XX:XX:XX:XX:FF」までの範囲を指定できるように致しました。 MAC 認証にパスワード設定を可能に致しました。 強制ログインの機能を追加致しました。 複数ログインに最大数を設定できるように致しました。 キャプティブポータルのセッション画面を改善致しました。 Authorize.net ユーザについて、MD5 ハッシュを SHA512 に置き換えました。 初回ログイン時にパスワードの変更を行う画面を表示するように致しました。 WPA3 の設定項目を追加致しました。(DWL-7620AP/DWL-6620APS のみ) AP プロファイルの設定項目に、リンクアグリゲーションおよび LACP を追加致しました。(DWL-7620AP/DWL-6620APS のみ) AP プロファイルの設定項目に、Wireless Multicast Forwarding を追加致しました。(DWL-7620AP/DWL-6620APS のみ)

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
4.7.4.2B101C	<ol style="list-style-type: none"> Web GUI の SSID Configuration 画面で「RADIUS Use Network Configuration」の項目を削除し、初期値を有効に致しました。 トランクモードにおいて、VLAN1 (デフォルト VLAN) が他の VLAN のようにタグ付にならない問題を修正致しました。 DHCPv6 サーバのコードをアップグレード致しました。 Web GUI において、802.11ac クライアントが 802.11 n/802.11ac 両方のクライアントとしてカウントされる問題を修正致しました。 Neighbor AP Status 画面において、2.4Ghz 帯の Neighbor AP のエントリが表示されない問題を修正致しました。 Managed AP Status の E メールログを送信しない問題を修正致しました。 Managed APs List 画面からの DWL-7620AP に対するファームウェアアップグレードがサポートされない問題を修正致しました。

8. Web GUI 上部の「Event」アイコンの数字をクリックした場合に、エラー画面が表示される問題を修正致しました。
9. ポップアップウィンドウがクローズボタンを押してもクローズできない問題を修正致しました。
10. MAC 認証データベースに 2048 個の MAC アドレスを登録できない問題を修正致しました。
11. DWL-7620AP において、2 つめの 5GHz でオートチャネルが動作しない問題を修正致しました。
12. 多くの AP を管理した場合に、無線の詳細情報が Managed AP List 画面に正しく表示されない問題を修正致しました。
13. リモートで DWC-2000 を管理している場合に、Wireless > Access Point > AP List > Managed 画面にアクセスするとエラー画面が表示される問題を修正致しました。
14. DWL-7620AP において、2 つ目の 5GHz 帯の設定が正しく行えない問題を修正致しました。
15. SSL / TLS の脆弱性を修正致しました。
16. 内部 DHCP サーバが正しく動作せず、DHCP クライアントが IP アドレスを取得できない問題を修正致しました。
17. 表示するエントリ数を選択するドロップダウンリストに 200 と 500 を追加致しました。
18. RADIUS アウンティング設定の CLI コマンドがない問題を修正致しました。
19. Web GUI Management 機能が、キャプティブポータルログインユーザによる Web GUI へのアクセスをブロックしない問題を修正致しました。
20. HTTP 通信でパスワードが平文となる問題を修正致しました。
21. L2 Discovery で LAG ポート上の AP を Discovery できない問題を修正致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B101C	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以下の CLI コマンドを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● system radiusAccounting config add/del/edit ● system radiusAccountingGlobalSettings

既知の問題：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.7.4.2B101C	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB 経由でコンフィグがリストアできない問題。NTFS フォーマットの場合に失敗します。 2. Wlan Visualization 機能が正常に動作せず、再起動後に Managed AP が保存されない問題。 3. General Setting 画面の Detected Clients Delete 項目について、Help 画面の説明が間違っている問題。正しくは初期値で有効となります。 4. Radius Profile 名に . (ドット) を含む Radius Profile を General、または SSID に適用しても、Default-RADIUS-Server が使用される問題。 5. WEP を有効にした SSID が作成できない問題。(WEP をサポートしない DWL-x620/30 系、DWL-x720 系を対象とした Profile が 既に存在している場合に、新規に WEP SSID が作成できません) 6. GCMP-256 を解除できないため、WPA2 Enterprise と WPA3 Enterprise の混在環境では SSID を分ける必要があります。＜制限事項＞

Copyright 2006-2020 D-link Japan K.K.